

## 振り返る 復旧・復興 役場本庁舎・議会棟

### 被害状況と再建までの見通し

平成34年度の業務開始を目指し建て替え

行政・防災対策の拠点となる役場庁舎。昭和55年に建築され、平成24年には大規模な耐震改修



大きく損傷した役場庁舎の基礎

工事を行っています。しかし、二度の震度7の揺れと度重なる大きな余震に耐え切れず、隣接する議会棟とともに大きく破損しました。

#### 施設の概要と主な被害状況

##### 役場本庁舎

【概要】 鉄筋コンクリート造3階建て3,792平方メートル

【被害状況】 庁舎から議会棟への渡り廊下の大破／エレベーター棟の破損／基礎杭の全損／構造体の沈下／内壁のひび割れ など

##### 議会棟

【概要】 鉄筋コンクリート一部鉄骨造2階建て914平方メートル

【被害状況】 本会議場の天井および照明落下／委員会室の天



天井が落下した議会棟本会議場

#### 基礎の損傷により復旧が困難

地震後に行った被災度区分判定調査の結果によると、建物の沈下や柱の傾斜などのほか、基礎杭の損傷が大きく、復旧はかなり困難とされました。

#### 検討を重ね建て替えるを決定

調査報告を受け、庁舎を建て替える方針を決定。平成28年12月以降「新庁舎建設検討委員会」により庁舎の機能や規模など検討を重ねました。結果、建設場所については、実現性、安全性、利便性、拠点性、経済性、防災拠点性の視点からの比較検

討と町の歴史的背景等を考慮し、現庁舎所在地周辺が望ましいとの取りまとめを行いました。

#### 町民の意見を参考に より良い新庁舎建設を目指す

本紙昨年12月号でお知らせしたとおり、町民の皆さまが庁舎の利用状況、庁舎に求めるものなどについてアンケートを実施しました。また、新庁舎建設に係る基本構想・基本計画を策定するに当たり、皆さまの多様な意見や提案などを求め、できる限り反映させるためパブリックコメントを実施しました。今後は、いただいたご意見などを参考に、新庁舎建設検討委員会等で協議をさらに重ねていきます。

#### 新庁舎建設の流れ(予定)

平成29年度 基本構想・基本計画策定  
▼平成29年度 旧庁舎解体(旧健康管理センター、町民体育館も同時に実施)  
▼平成30・31年度 基本設計、実施設計  
▼平成32・33年度 建設工事実施  
▼平成34年度 新庁舎で業務開始

※旧庁舎解体工事に伴い、近隣住民の皆さまにはご迷惑をお掛けしますが、ご了承願います。

閩総務課管財係

☎ 286・3111

## 『布田川断層帯』が 国の天然記念物に指定されました

平成30年2月13日付け官報告示により、杉堂地区、堂園地区、谷川地区に所在する『布田川断層帯』が国の天然記念物に指定されました。

これら3か所の断層は、平成28年熊本地震で生じた多様な断層の運動と連続性を表しており、わが国において学術的価値が高く、地震の被害を将来に伝える災害遺構としても貴重な事例であると評価されました。今後は防災・減災教育や環境教育の拠点として保存・活用を図っていきます。



閩町教育委員会生涯学習課生涯学習係 ☎ 286 - 3337